









人権啓発ビデオ一覧表 【 女性の人権 】

No	タイトル	時間(分)	企画/製作会社	本数	製作年
7	小さな叫び	30	和歌山県人権啓発センター / 読売映像	4	2004年
		児童虐待を軸に、ジェンダー、親子関係、高齢者など、さまざまな問題をテーマにしたドラマ。言葉の暴力も児童虐待における深刻な問題です。ドラマを通じて、「しつけ」と「虐待」の違い、児童虐待を発見した場合はどう対処すればよいのか、「他人の事に口出しする」と「他人の事に気を配る」ことの違い等について考えます。			
10	雲が晴れた日	53	栃木県 / 東映株式会社	2	1999年
		祖母の介護の問題に直面した家族が、高齢者、女性、障害者、外国人、同和地区だからとの理由で、差別していたことに気づき、克服し助け合うまでの物語。中学生の愛に母親純子が同和地区出身を告げる場面や祖父栄次の差別を詫げる場面は是非考えさせたい。			
12	陽だまりの家 (アニメ)	42	北九州市 ほか/東映株式会社	3	2002年
		夫と離婚しホームヘルパーとして働く一人の女性とその娘が、いろいろな出会いを通して成長していく姿を描いたアニメーション。 女性や高齢者に関する人権問題のほか、「自分を認めるとは…」 「相手を認めるとは…」 「生命の尊さとは…」 「共生とは…」といった様々な視点から人権について考える。			
21	新しい風	30	兵庫県・兵庫県教育委員会、(財)兵庫県人権啓発協会/東映株式会社	2	2003年
		豊かなところをもって幸せな人生を送るには、家族がお互いの人格を尊重し合い、協力して明るく生き生きとした家庭を築いていくことが大切。しかし、今日、配偶者からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)や、親から子への虐待が大きな社会問題となっている。その中で、ある一家の日常生活を通して、家庭における一人ひとりの人権の大切さを描いている。			

56	 <p>風と大地と梨の木と 第3章老いのいきさき</p>	54	鳥取県 / オフィス・ヒューマンヒル	2	1999年	<p>信彦の家を訪ねてきた志津は「夫の横暴な振る舞いが我慢できない、自分の人生を見直したい」一方で「体の不自由な夫をおいて家出した」という志津の噂に驚く。信彦は志津の夫に「自分を認める気持ちを相手にも向けてください」と言う。家に帰ろうとする志津を迎えに夫が訪ねてくる。女にも男にも一度きりの人生、共に生きるとは、豊かな老いとは、について考えます。</p>
57	 <p>TOEI VIDEO For Lifelong Learning</p>	24	東映株式会社 / 東映株式会社	1	1998年	<p>「セクハラとはどういうことなのか」、具体的事例を示しながらその実態に迫ります。さらに「なぜセクハラが起きるのか」、「セクハラを起こさないためにはどうしたら良いのか」、「セクハラにあったらどうすれば良いのか」等を示すとともに、考察を深めていただく構成になっています。</p>
96	 <p>翔太のあした</p>	54	法務省人権擁護局/東映株式会社	1	2001年	<p>第一話「らしさってなあに」・第二話「挑戦」・第三話「父ちゃんは変？」の3部構成となっており、学校、職場、家庭と、それぞれの場面での男女の意識の差を描くことにより、未来を担う子ども達に、自ら男女共同参画社会の実現がどのような意義をもつのかを考えてもらい、実現への行動力を育ててもらうことを目的としてつくられた。</p>
99	 <p>人権を考える！女性と子どもと母親</p>	30	共和教育映画社	1	1998年	<p>この作品は、キャリアウーマンとして働く女性と、幼い子どもをもつ母親が同和問題に直面し、悩みながら、日々の生活の中から誤った知識や偏見の有ることに気づき、同和問題をはじめ、女性差別・在日外国人差別など、人権問題を学び、差別解消に向かって行動していく人権学習の教材である。</p>